

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル



報道発表資料の配付日時 2月 4日 (木) 10時00分

発表項目 (行事名)	「環境道民会議ウィンターミーティング2020」 気候変動～ポストコロナ時代における気候変動に向けた対応～ セミナーの開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、道民、事業者、行政が互いの連携の下で、環境保全活動に取り組む環境道民会議の情報収集の場（ウィンターミーティング）を毎年度開催しておりますが、今年は、地球温暖化や気候変動に関する道民の皆様の理解と関心を深め、脱炭素社会の実現や気候変動対応への機運の醸成を高めるために、気候変動をテーマとしたセミナーをオンラインで開催します。</p> <p>【セミナーの概要】 1日時：令和3年（2021年）2月19日（金）14時00分～15時15分 2方法：Zoomによるオンライン開催 ※インターネットに接続できる環境にない方については、札幌市産業振興センター2階セミナールームAにおいて視聴可能です。 （定員30名） <u>（変更後）セミナールームC</u></p> <p>3内容：基調講演 「気候変動に備えよう！」 講師：国立研究開発法人国立環境研究所 気候変動適応センター長 向井 人史 氏</p> <p>事例発表 「雪氷災害予測と雪氷環境の変化」 発表者：国立研究開発法人防災科学研究所雪氷防災研究部門 主任研究員 山口 悟 氏</p> <p>4対象：環境保全活動に関心のある方（個人、企業、団体、行政など） 5申込方法 必要事項（所属・氏名・年齢・連絡先・参加方法（オンライン又は会場））を記載の上、FAX又はメールで お申し込みください。 （定員は100名を予定（先着順）） 6申込期限：2月15日（月）</p>		
参考			
報道（取材） に当たって のお願い	広く参加者を募集しておりますので、周知に御協力をお願いします。		
他のクラブ との関係	同時配付	（場所）	
	同時レク		
担当 (連絡先)	環境生活部環境局環境政策課企画調整係 主幹 木内 武雄 TEL（直通）011-204-5188（内線24-205）		

気候変動～ポストコロナ時代における気候変動に向けた対応～

地球温暖化や気候変動に関する道民の皆様の理解と関心を深め、脱炭素社会の実現や気候変動適応への機運の醸成を高めるために、気候変動セミナーをオンラインで開催します。

近年多発する異常気象を振り返るとともに、コロナ禍が教えてくれた気候変動や、加速化する脱炭素社会に向けた国内外の動向についてお話しいただきます。ご関心をお持ちの方は、是非ご参加ください。

定員100名
参加無料
要事前申込

日時

2月19日(金)
14:00～15:15

方法

Zoomによるオンライン開催

※インターネットに接続できる環境にない方については、札幌市産業振興センター2階セミナールームCにおいて視聴可能です。(定員30名)

基調講演

気候変動に備えよう！

国立研究開発法人国立環境研究所

気候変動適応センター長 向井 人史 氏

未来のことを予測するのは難しい問題ですが、気候変動による身の周りの環境の変化は知らず知らずのうちにすでに起こってきているかもしれません。将来に向けてより良い地域社会を築いていくためには、気候変動に対してどのような影響が出るかを我々が気付き、対応を計画し、実行していくことが必要です。国立環境研究所気候変動適応センター長としての専門的な立場から、国内外で起こっている様々な気候変動の問題についてお話しいただきます。

プロフィール：国立環境研究所において大気汚染成分の研究を担当。同研究所地域環境研究センターにおいて温室効果ガスのモニタリングを北海道では落石岬や沖縄波照間島での観測を行ってきた。その後、気候変動適応センターにおいて影響対策としての適応を進めている。



事例発表

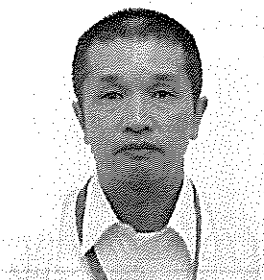
雪氷災害予測と雪氷環境の変化

国立研究開発法人防災科学研究所雪氷防災研究部門

主任研究員 山口 悟 氏

北海道で生活する人にとって雪氷災害は身近な問題です。リアルタイム雪氷災害予測、現況の観測データと気象・積雪予測技術の融合により、雪崩から吹雪き、着雪まで、これまでにない総合的な雪氷災害のリアルタイムハザードマップを作成している当該研究所から、積雪寒冷地である北海道を含めた雪氷災害予測に関する最新の研究を紹介するとともに、今後の気候変動に伴い北海道の雪氷災害や積雪環境がどのように変わっていくかに関して研究成果を用い事例発表してもらいます。

プロフィール：生まれも育ちも関東だが、雪に憧れて北海道の大学に進学し、学生時代を札幌で過ごす。その後、国立研究開発法人防災科学技術研究所に就職し、現在の雪氷災害の研究を始める。専門は積雪の物理で、雪崩災害の発生メカニズムに関する研究も行っている。また近年の本州山岳域の雪氷環境がどのように変動しているか等の研究も行っている。机上研究だけでは、災害研究は理解できないという考えから、雪崩等の災害が起こると率先して現場に入って調査を行う。



申込方法

裏面の参加申込書により2月15日(月)までにお申し込みください♪

【お問い合わせ】

北海道環境生活部環境局 環境政策課 [担当：長谷 (ながたに)]

TEL：011-204-5188 (ダイヤルイン) 月曜日から金曜日までの平日8:45～17:30

2/19 (金) 14:00~15:15 (受付開始13:30)

13:30~14:00	接続準備
14:00~14:03	主催者挨拶
14:05~14:25	第1部 基調講演 (気候変動に備えよう!)
14:25~14:30	休憩
14:30~14:50	第2部 事例発表 (雪氷災害と雪氷環境の変化)
14:50~15:10	質疑応答&意見交換
15:10~15:15	まとめ・閉会

留意事項

- ・お申込みいただき、受講可能となった方に、Zoomの招待URLをお送りします。

<オンライン会議システム「Zoom」使用についての留意事項>

- ・御案内した時間までに入室してください。
- ・お送りした招待URLをSNS等で公開することは固く禁じます。
- ・記録及び講師の研究に役立てるため、講座内容を録画させていただきます。また、当日視聴できなかった方のために、しばらくの期間、北海道のホームページ上に公開する予定です。
- ・講座中、質問する際など、個人の顔や名前が表示される場合がありますので、ご了承ください。
- ・講座開始後のZoom取り扱いは、司会者の指示に従ってください。
- ・ネットの回線状況やWi-Fi環境により動作に支障がでる場合がありますので、予めご了承ください。
- ・Zoomアプリケーションの利用に関しては、皆さまの認識と責任においてご利用をお願いいたします。
- ・Zoomアプリケーションによる被害・損害等が発生した場合も、当方では責任を負いかねますので、御理解願います。
- ・質疑応答&意見交換については、Zoomのチャット機能を使用しますので、予めご了承ください。
- ・Zoomへの接続が途中で中断された場合は、最初に入室されたミーティングID、パスワードで再び入室してください。

<必要なもの>

- ・インターネットに接続できる環境/パソコン・タブレットなど。画面共有により資料を表示するため、スマートフォンなど画面が小さい端末はおすすめしません。
- ・有線LANケーブルに接続したパソコン使用を推奨します。

参加申込書

申込先	北海道環境生活部環境局環境政策課 担当：長谷（ながたに）	e-mail：
-----	---------------------------------	---------

- 必要事項をご記入の上、**2月15日(月)までに、メール**でお申し込みください。
(メール本文に下記必要事項をご記入いただいても結構です)
- 定員は100名を予定しております。先着順となりますので、お早めにお申し込みください。

お名前		年齢	
所属		お電話番号	
ご住所			
メールアドレス			

<参加方法> ※どちらかにチェックをつけてください

- オンライン参加 会場での視聴

※ お申込みにあたってお知らせいただいた個人情報は、本セミナーの運営業務以外には使用いたしません。